

## 令和4年第1回定例会6月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。本会議は午前10時から開会します。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症対策の観点から、会議については、原則マスクを着用し、換気等の措置を実施の上行いますので、ご理解とご協力をお願いします。  
風邪症状（熱、咳、くしゃみ、鼻水等）のある方は、傍聴をご遠慮願います。

### 発 言 順 位

6月16日（木）

- |     |     |     |    |             |            |
|-----|-----|-----|----|-------------|------------|
| (1) | 梅田  | 宏希  | 議員 | (公明党)       | …………… P 2  |
| (2) | 竹内  | きよ子 | 〃  | (明石かがやきネット) | …………… P 4  |
| (3) | 三好  | 宏   | 〃  | (自民党 真誠会)   | …………… P 5  |
| (4) | 佐々木 | 敏   | 〃  | (公明党)       | …………… P 7  |
| (5) | 吉田  | 秀夫  | 〃  | (明石かがやきネット) | …………… P 8  |
| (6) | 穂原  | 成人  | 〃  | (自民党 真誠会)   | …………… P 10 |
| (7) | 松井  | 久美子 | 〃  | (公明党)       | …………… P 11 |

6月17日（金）

- |      |    |    |    |           |            |
|------|----|----|----|-----------|------------|
| (8)  | 灰野 | 修平 | 議員 | (自民党 真誠会) | …………… P 12 |
| (9)  | 飯田 | 伸子 | 〃  | (公明党)     | …………… P 13 |
| (10) | 千住 | 啓介 | 〃  | (自民党 真誠会) | …………… P 14 |
| (11) | 国出 | 拓志 | 〃  | (公明党)     | …………… P 15 |
| (12) | 林  | 健太 | 〃  | (自民党 真誠会) | …………… P 17 |
| (13) | 井藤 | 圭順 | 〃  | (自民党 真誠会) | …………… P 18 |
| (14) | 寺井 | 吉広 | 〃  | (自民党 真誠会) | …………… P 19 |

6月20日（月）

- |      |     |    |    |            |            |
|------|-----|----|----|------------|------------|
| (15) | 楠本  | 美紀 | 議員 | (日本共産党)    | …………… P 21 |
| (16) | 森   | 勝子 | 〃  | (維新の会)     | …………… P 23 |
| (17) | 家根谷 | 敦子 | 〃  | (スマイル会)    | …………… P 24 |
| (18) | 宮坂  | 祐太 | 〃  | (フォーラム明石)  | …………… P 25 |
| (19) | 丸谷  | 聡子 | 〃  | (かけはしSDGs) | …………… P 26 |
| (20) | 辻本  | 達也 | 〃  | (日本共産党)    | …………… P 28 |
| (21) | 北川  | 貴則 | 〃  | (維新の会)     | …………… P 29 |

※ 順位については予定です。

令和4年第1回定例会6月議会発言通告一覧表

発言順位	1	議員名	梅田 宏希(公明党)
発 言 事 項	<p><b>1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の取扱いについて</b></p> <p>(1) 物価高騰による学校給食の現状と対策について            (要旨) 今回の臨時交付金の活用が可能な事業に「物価高騰に伴う学校給食等に関する負担軽減」が追加されました。学校給食費の現状と今後の見通し及び本市の対策についてお答えください。</p> <p>(2) 生活者支援について            (要旨) 生活者支援に関する事業の例として、地域経済の活性化と生活者支援を目的とした支援策等とあり、住民税非課税世帯や低所得の子育て世帯への支援と併せて、実情に合わせて自由度が高く使えるコロナ禍で奮闘する全市民を対象としたクーポン券発行等の経済効果が高い事業を行ってはどうか、市としての見解をお答えください。</p> <p>(3) 事業者支援について            (要旨) 事業者支援策については、例として、事業者に対する燃料費高騰の負担軽減や農林水産、運輸・交通、観光、生活衛生のそれぞれの分野に係る経営支援等、幅広く列記されています。昨年度、加古川市では中小法人及び個人事業者の事業継続を支援することを目的とした市内事業者一時支援金交付事業を行い、大変好評でありました。事業者支援について、市としての見解をお答えください。</p> <p><b>2 地域未来投資促進法による二見町人工島の緑地面積率と環境施設面積率の緩和について</b></p> <p>(1) 二見町人工島の工場立地法の特例適用について            (要旨) 本市がこの促進法の地域経済牽引事業の促進に関する基本計画を策定し、国の同意を得て、本市の工場立地法地域準則に代えて適用する準則を定めることにより、緑地及び環境施設面積率を最大1%まで緩和することができますが、市としての見解をお答えください。</p> <p>(2) 地域未来投資促進法の適用スケジュールについて            (要旨) 二見町人工島の播磨町区域は既に同法の適用を受けて事業を行っており、本市区域の迅速な実現が待たれています。本促進法の適用スケジュールについてお答えください。</p>		

発言順位	1	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	<p><b>3 明石市の動物愛護行政について</b></p> <p>(1) 飼い主のいない猫の去勢・不妊手術助成金交付要綱について  (要旨) あかし動物センターが2018年に開設し4年が経過した。この要綱は2011年に環境総務課が作成し、地域環境美化を目的にしており、動物愛護管理法の目的とは乖離がある。先進他都市と同様に、市内全域をTNRの対象にするべきである。市としての見解をお答えください。  ※TNRとは、T r a p / N e u t e r / R e t u r nの略。  飼い主のいない猫を捕まえて、去勢・不妊手術をして、元に戻すこと。</p> <p>(2) TNR活動のボランティア公募・人材育成について  (要旨) 環境省の指針では、「施策の実行を支える基盤の整備」として動物愛護推進員等の委嘱の推進、動物愛護団体等の育成支援及び施策実施の拠点として動物センターの機能拡充を必要としているが、現状と対策についてお答えください。</p> <p>(3) 人と動物の共生によるまちづくり連絡会との連携について  (要旨) 動物愛護管理法に定める関係機関等との連携の取組として、2019年に「人と動物の共生によるまちづくり連絡会」を設置したが、コロナ禍以前に2回会議が行われたのみで機能していないのが現状である。関係機関との連携ツールとして、環境省提案の「各種チェックシート」を取り入れて連携を強化するべきである。市としての見解をお答えください。</p> <p>(4) 災害時のペット同行避難について  (要旨) 国は、度重なる大規模災害の教訓から、ペットとの同行避難を原則として、「人とペットの災害対策ガイドライン」を策定した。本市では、「動物は基本的に屋外に置くこと」としている。避難所の住み分けを視野に、「ペット同行避難所運営マニュアル」が必要ではないか。市としての見解をお答えください。</p>		

発言順位	2	議員名	竹内 きよ子 (明石かがやきネット)
発言事項	<p><b>1 新型コロナウイルス感染症について</b></p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症後遺症の実態把握について  (要旨) コロナ禍が長引いているが、後遺症で苦しんでいる人の声を聞くために対策を講じているのか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 後遺症治療に関する相談ができる窓口について  (要旨) 他市では、後遺症相談窓口などもあると聞くが、対策について、市の見解を問う。</p> <p>(3) 自宅療養者の支援について  (要旨) 新型コロナウイルス感染症による自宅療養の現状と食料品などの調達が困難な方への支援について、市の見解を問う。</p> <p><b>2 本市の小学校・中学校が抱える各種課題とその対応について</b></p> <p>(1) 過大規模校への対応について  (要旨) 大久保地区をはじめとして、適正な学級数を上回る過大規模校への対応が必要と考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(2) スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの配置状況と取組状況について  (要旨) コロナ禍の中で新年度がスタートし、不登校・いじめの原因につながりかねない日々の生活に適応していけない子供たちが出てくるのが心配される。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの存在は不可欠であるが、本市の状況について問う。</p> <p>(3) ICT機器の活用状況とWi-Fi環境整備について  (要旨) 通常教室にWi-Fi環境が整備され、授業で活用されているが、体育や特別活動などの授業においてもネットワーク環境が必要な場面があると思うが、市の見解を問う。</p> <p>(4) SNS依存の児童生徒への対応状況について  (要旨) 児童・生徒へのスマートフォン普及率は高く、スマートフォンなしでは生活しにくくなっている状況であるが、SNSに関する問題が頻繁に起こっている。どのように対応・解決しているのか、市の見解を問う。</p>		

発言順位	3	議員名	三好 宏 (自民党 真誠会)
発言事項	<b>1 明石市役所組織体制の課題について</b>		
	<p>(1) 不在である副市長人事について  (要旨) 本年4月から副市長が不在のままとなっているが、職務上問題はないのか。また、市長職務代理者の任命の経緯も聞く。</p> <p>(2) 市役所職員数の推移について  (要旨) 近年、中堅職員の退職が多く見られる傾向にあるが、職員構成のバランスに問題はないのか。</p> <p>(3) 将来を見据えた人材育成について  (要旨) 定年延長や再任用職員が増える傾向にあるが、市職員の人材育成に問題はないのか。</p> <p>(4) 職員数とラスパイレス指数について  (要旨) 財政バランスシートなどで確認すると、近年、他市に比べて職員数とその給料の割合(ラスパイレス指数)が高い水準にある。本市は現在、定年延長や弁護士資格を持った職員が多く在職しているが、その費用対効果をどう評価しているのかを問う。</p>		
	<b>2 あかし生活・地域経済応援キャンペーンについて</b>		
	<p>(1) あかし生活・地域経済応援キャンペーンについて  (要旨) 令和3年度当初予算に計上されながら実施されなかったあかし生活・地域経済応援キャンペーンが、この令和4年度当初予算に計上され、今年度こそは早期に実施されることを待ち望む市民や商業者の声を多く聞く。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により低迷していた経済も回復傾向にあるようだが、ロシア・ウクライナの紛争や円安傾向、あらゆる物資の高騰など、先行き不透明な状況が続く。</p> <p>アフターコロナの時代を見据えて、近隣の他都市に先駆けて生活・地域経済応援キャンペーンを実施するタイミングであると考えるが、本事業の進捗状況と実施時期を聞く。また、本事業に活用できる兵庫県の補助制度を有効利用すべきだと考えるが、現状の認識を聞く。</p>		

(代表質問)

発言順位	3	議員名	三好 宏 (自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>3 兵庫県や近隣他都市との連携について</b></p> <p>(1) 兵庫県や近隣他都市との連携について</p> <p>(要旨) 現在、全国の各自治体で懸案事項になっている老朽化した施設や道路等のインフラ整備について、持続可能な社会を目指して優先順位を決めて計画的に進めることが重要と考える。そのような中、本市でもゴミ処理問題や公立病院の在り方、また、幹線道路の整備や水道施設の更新などにおいて、兵庫県や近隣他都市との連携が必要不可欠であると考えているが、市の認識を問う。</p>		

発言順位	4	議員名	佐々木 敏 (公明党)
発言事項	<p><b>1 教育施設等での照明設備のLED化について</b></p> <p>(1) 現在の進捗状況について  (要旨) 予算規模の大きい工事になると思うが、現在の進捗状況についてお聞きしたい。</p> <p><b>2 高齢者施策の充実を</b></p> <p>(1) 急な坂道に手すりを設置しないか。  (要旨) 急な坂道が高齢者等の外出の妨げになっている。手すりがあれば、外出の大きな手助けになる。</p> <p>(2) 市内各所にベンチを設置しないか。  (要旨) 疲れて道に座り込んでいる高齢者等を見かける。市内各所にベンチを設置し、高齢者等にやさしいまちをつくらないか。</p> <p>(3) 特別養護老人ホームを整備しないか。  (要旨) 保育所待機児童解消を目指して大きな予算が使われている。一方、高齢者施設入所に係る待機者が増加している。バランスの取れた予算配分を行い、高齢者が安心して住み続けられる市にしないか。</p> <p><b>3 自治会活動への、より一層の支援を</b></p> <p>(1) 特に、会長、会計、環境担当への支援の拡充をしないか。  (要旨) 自治会が解散・休止状態になる大きな原因として、会長、会計、環境担当が決まらないということが挙げられる。例えば、コミセン職員を増員することにより、自治会活動を今以上にバックアップする体制をつくらないか。</p> <p><b>4 市の部署の配置について</b></p> <p>(1) 市民生活に密着する部署である環境室、下水道室や、他の部署との連携を取らなければならない部署を本庁舎に移転しないか。  (要旨) 自治会役員や手続きに来る市民から不便であるという声がある。また、他の部署と連携をするにも離れていると連携しにくい。</p>		

発言順位	5	議員名	吉田 秀夫 (明石かがやきネット)
発言事項	<p><b>1 明石市職員の定年年齢の引上げについて</b></p> <p>(1) 制度導入に向けた進捗状況と高齢期の職員が健康で働き続けることができる職場環境の整備について  (要旨) 法改正の趣旨を踏まえた制度設計の進捗と今後のスケジュール、また、高齢期の職員が加齢による体力の低下等乗り越え、能力を最大限に発揮し、健康で働き続けるための人員配置と職場環境の整備についての考え方を問う。</p> <p>(2) 役職定年制等について  (要旨) 役職定年の対象範囲、役職定年の例外として特例任用の対象となる職について問う。また、本市が現在行っている一部職員の定年延長の今後の運用について問う。</p> <p>(3) 高齢者部分休業制度の導入について  (要旨) 制度導入の意義と導入時期について問う。</p> <p>(4) 再任用職員の処遇改善について  (要旨) 定年年齢の段階的引き上げの期間中は、定年引上げとなった職員、暫定再任用職員、定年前再任用短時間勤務職員が、同様の職責、職務を担いながら混在して働くことが考えられる。給与水準を含め、処遇の統一が必要であると考え、認識を問う。</p> <p><b>2 ゼロカーボンシティ明石の実現について</b></p> <p>(1) CO2の削減目標について  (要旨) 政府は、昨年、2050年カーボンニュートラル実現を目指し、2030年度のCO2排出量を2013年度比で46%削減する新たな目標を掲げた。気候非常事態宣言を表明した本市としても、削減目標の引上げが必要と考えるが、認識を問う。</p> <p>(2) 地域特性を活かした公共施設での太陽光発電によるエネルギーの地産地消について  (要旨) 横浜市では、PPA（電力販売契約）モデルを用いて小中学校65校の屋根に太陽光発電設備を整備しようとしている。学校も含めて全ての公共施設への再生可能エネルギーの導入について、本市はどのように進めていくのかを問う。</p> <p>(3) 脱炭素先行地域への応募について  (要旨) 環境省は、2025年度までに全国に少なくとも100か所の脱炭素先行地域を選定することを念頭に、年2回程度の募集と選定を予定している。本市も応募するべきではないか。</p>		

発言順位	5	議員名	吉田 秀夫 (明石かがやきネット)
発言事項	<p><b>3 踏切道での視覚障害者の誘導について</b></p> <p>(1) 踏切の手前への視覚障害者誘導用ブロックの設置について (要旨) 市内の踏切での設置状況について問う。</p> <p>(2) 踏切内の表面に凹凸のある誘導表示の整備について (要旨) 今後の整備計画について問う。</p>		

発言順位	6	議員名	穂原 成人 (自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>1 市役所庁舎建て替えについて</b></p> <p>(1) 現在の進捗状況は、どうなっているのか。  (要旨) コロナ感染症対策をとる中、設計が当初の見込みより遅れているが、今後のスケジュールはどのように考えているのか。  また、兵庫県知事との協議において砂利揚げ場跡地の活用が困難となる中、当初の計画どおりに進めるべきではないか。</p> <p>(2) 市民意見の集約は、どのように行っていくのか。  (要旨) タイムスケジュールがある以上、方法などを検討し、市民意見の集約が重要である。</p> <p>(3) コロナ感染症対策や住民支援策を踏まえ、当初の計画からの変更はあるのか。  (要旨) 緊急事案などが発生した際、対処に当たるための執務スペースの確保が必要と思うが、当初の計画案で確保できていたのか。</p> <p>(4) 明石市消防署中崎分署の建て替え移転計画は、どうなっているのか。  (要旨) 市役所庁舎建て替えに順じて、中崎分署建て替えの計画があるが、本庁舎建て替えとは切り離して進めるべきではないか。</p> <p><b>2 市役所内部の決裁規程について</b></p> <p>(1) 各部署で決裁規程を設けているのか。  (要旨) 百条委員会で問題になった決裁について再確認し、チェック機能を高めるべきであり、組織としてコンプライアンスを重視するべきではないのか。</p> <p><b>3 中学校制服（明石市標準服）について</b></p> <p>(1) どのような経緯で明石市標準服を導入しようとしているのか。  (要旨) 議会に対して事前説明や経過報告も十分には行われず、不明な点が多くあり、保護者や生徒自身の間でも理解が進んでいない現状で導入を進めてよいのか。</p> <p>(2) 学校で生徒及び保護者の議論や意見集約は行ったのか。各学校での状況について聞く。  (要旨) ジェンダーを取り巻く課題に対応するための必要性は理解するが、生徒及び保護者への説明や議論を先に行い、人権についての意識を高めた上で取り組むべきではないか。</p>		

発言順位	7	議員名	松井久美子(公明党)
発言事項	<b>1 成年年齢18歳に引き下げについて</b>		
	<p>(1) 成年年齢が20歳から18歳に引き下げられたことについて  (要旨) 民法の改正に伴い、4月1日より明治以来140年以上続いた大人の定義が変わった。若者の社会参加の時期を早め、社会に新たな活力をもたらすことが期待できるが、何がどのように変わるのか。また、市民への周知が必要であると考えます。</p> <p>(2) 成年年齢引き下げに伴う消費者教育について  (要旨) 18歳になると、親の同意がなくてもクレジットカードや携帯電話、アパートの契約等が可能になり、消費者被害の拡大が懸念されることから、早い段階での消費者教育が重要である。学校現場での取組状況について問う。</p>		
	<b>2 「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が成立したことを受けた今後の本市の取組について</b>		
発言事項	<p>(1) 「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」(議員立法)が5月19日に成立したことを受けた、本市の今後の取組について  (要旨) 性被害や生活困窮、家庭関係の破綻等の問題を抱える女性を支援するための新法であり、2024年4月からの施行に向けて、国や地方自治体の支援が急がれる。本市の今後の取組について問う。</p> <p>(2) 困難な女性への円滑な支援に向けて、官民連携のための支援体制の構築について  (要旨) 新法には、民間団体との協働による支援や民間団体に対する補助も明記されていることから、官民連携のための支援体制を構築すべきである。</p>		
	<b>3 リトルベビーハンドブック(低出生体重児の記録)の普及について</b>		
	<p>(1) リトルベビーハンドブック(低出生体重児の記録)の普及について  (要旨) 現在配布されている母子健康手帳の発育曲線グラフの体重は1,000グラムから、身長は40センチから記入可能であるが、1,000グラム未満で生まれた場合は記入できず、小さく生まれたこどもの成長を記録できるリトルベビーハンドブックの普及と支援体制が必要である。</p>		

発言順位	8	議員名	灰野 修平 (自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>1 本市の公式ホームページ内の「ようこそ市長室へ」及び市長への意見箱について</b></p> <p>(1) 泉房穂後援会WEBページバナーが本市の公式ホームページ内の「ようこそ市長室へ」に貼付けされていたことについて  (要旨) 公私混同とも言うべきこの行動について、市長の認識を問う。</p> <p>(2) 泉市長の個人的なSNSであるフェイスブック、ツイッターが本市の公式ホームページ内の「ようこそ市長室へ」に埋めこまれていたことについて  (要旨) 私的な市長のSNSが公の市のホームページに埋めこまれていた事実について、市長の認識を問う。</p> <p>(3) 市長への意見箱について  (要旨) 意見箱では「自由にご意見をいただくものですので、意見の公表はいたしません」としているが、実際はSNS等で公表していることについて、市長の認識を問う。</p> <p><b>2 公立中学校等における運動部活動の地域移行について</b></p> <p>(1) 本市の運動部活動の地域移行について  (要旨) スポーツ庁が有識者による「運動部活動の地域移行に関する検討会議」を設置し提言が取りまとめられたところであるが、本市の考えを聞く。</p> <p>(2) 今後のスケジュールについて  (要旨) 本市では、今後どのように取り組もうとしているのか。スケジュールを含めた考えを問う。</p>		

発言順位	9	議員名	飯田伸子(公明党)
発言事項	<p><b>1 明石市営住宅への入居機会の拡大について</b></p> <p>(1) 単身者の入居対象拡大について  (要旨) 兵庫県は本年4月から、単身者の県営住宅入居要件について、60歳未満でも収入要件に合致すれば入居できるように緩和した。近年の家族形態やライフスタイルの変化に対応するため、本市の市営住宅でも単身者の入居対象を拡大しないか、本市の見解を問う。</p> <p>(2) 定期募集の回数拡大について  (要旨) 本市では年に2回、市営住宅の入居希望者を募集しているが、入居機会増加のために定期募集の回数を増加しないか、本市の見解を問う。</p> <p>(3) 常時募集住宅の増加について  (要旨) 様々な事情により早急に住宅を必要とする市民のニーズに応えるために、常時募集住宅の戸数を増加できないか、本市の見解を問う。</p> <p><b>2 明石市立市民病院再整備への取組について</b></p> <p>(1) 明石市立市民病院の在り方について  (要旨) 本年3月の文教厚生常任委員会に、地域医療構想の進捗を見据えた今後の病院体制のあり方検討部会より、「今後の病院体制のあり方に関する報告書」が提出されたが、本市が考える明石市立市民病院の在り方についての見解を問う。</p> <p>(2) 明石市立市民病院再整備事業計画について  (要旨) 明石市立市民病院では老朽化に伴う様々な支障が報告されており、「今後の病院体制のあり方に関する報告書」に示されている将来構想を基に、病院再整備事業計画を早急に開始する必要があると考える。本市の今後の取組について問う。</p>		

発言順位	10	議員名	千住 啓介 (自民党 真誠会)
発言事項	<p>1 「議員提出議案第4号 明石市工場立地法地域準則条例制定のことの再議」の議決に対する審査申立てに係る裁定書について</p> <p>(1) 裁定書について  (要旨) 兵庫県知事から、本件審査の申立てには理由がないことから棄却するとの内容の裁定書が届いたが、この裁定に対する市長の見解を問う。</p> <p>2 市民の安心安全をつくる公共インフラ事業について</p> <p>(1) 本市予算の全体に占める土木費の構成比率及び予算額の妥当性について  (要旨) 泉市長就任以降、土木費の予算が極端に減っている。平成28年度から下水道会計が特別会計から企業会計に移行し、予算規模が減少したことを鑑みても予算がバランスに欠けているように感じる。市の見解を問う。</p> <p>(2) 新しい道路整備プログラム策定について  (要旨) 民主党政権時にコンクリートから人へという施策転換があり、公共事業についての予算確保が不透明になった。それに伴い、明石市都市計画道路整備プログラムの策定が保留になり、その状況が今も続いている。過去に積み残した計画道路や、近年の開発行為で生じた課題への対策としても、新しい道路整備プログラムをつくるべきと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(3) 治水対策について  (要旨) これまで泉市長は、土木費を削って子育て施策に予算を回してきた。また、「無駄な公共事業は廃止してきた」等々の趣旨の発言を各種メディアに行ってきたが、過去に浸水・冠水等が起きたエリアの治水対策は十分であったと言えるのか。市の見解を問う。</p> <p>(4) 市内の均衡ある未来志向の都市開発について  (要旨) 新しい開発行為により様々な課題が出てきた。交通渋滞緩和、新しい都市公園整備、公共交通インフラ整備、バリアフリー整備等々、今後の都市開発について、市の見解を問う。</p>		

発言順位	11	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p><b>1 保育行政について</b></p> <p>(1) 認可外保育施設に対して市独自の運営費補助を実施しないか。  (要旨) 本市独自の施策として、一定の条件は必要であるが、認可外保育施設に対して運営費の補助ができないか。市として認可外保育施設を支えていくためにも必要と考える。</p> <p>(2) 明石市小規模保育事業所について、募集要件の緩和を図れないか。  (要旨) 認可外保育所を運営する事業者がもっと小規模保育事業に参入しやすくなるように募集要件を緩和し、少なくとも希望する事業者が等しくスタートラインに立てるようにするべきではないか。</p> <p>(3) 保育あんしんダイヤルについて  (要旨) ①設置がされ、4年目を迎えたが、まだまだ周知されていないのではないか。  ②相談体制のさらなる強化が必要ではないか。  ③利用の現状と今後の周知徹底のための方策についてはどう考えているのか。  ④SNSを活用した相談体制も必要ではないか。</p> <p><b>2 教育行政について</b></p> <p>(1) 学校図書館への新聞配備について  (要旨) 「適切な新聞の複数紙配備に努める」と文部科学省の計画に示されており、そのための予算措置もされている以上、本市も今後、その方向で対応していく必要があると考えるが、具体的な市の方針・計画を問う。</p> <p>(2) スクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーの配置と役割について  (要旨) ①特にスクールカウンセラーは全小中学校に配置すべきではないか。  ②スクールカウンセラーの採用に際して市独自の基準を設け、全校配置につなげていくことはできないか。  ③全小中学校に(仮称)何でも相談室を設け、一人一人に寄り添いながら、熱心に話を聞く、相談に乗る、専門家につなぐ等の仕組みはできないか。  ④現在は、スクールソーシャルワーカー10名で13中学校区を担当しているが、さらに3名を増やすことができれば、少なくとも全中学校区に1名のスクールソーシャルワーカーを配置できるが、増員は可能か。</p>		

発言順位	11	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p><b>3 ヤングケアラーについて</b></p> <p>(1) 現状と今後の課題について  (要旨) 本市において、すでに昨年より各部局において横断した取組を実施していることは承知しているが、その現状と今後の課題について問う。</p> <p>(2) 2022年度予算に対する具体的な活用について  (要旨) 2022年度予算には、ヤングケアラーの早期発見・把握や広報・啓発などの支援策が盛り込まれたが、市としての具体的な予算の活用方法を問う。</p> <p>(3) 教職員等への研修について  (要旨) 最前線に立つ先生方にヤングケアラーについて改めて認識し、子どもたちの変化にいち早く対応していただくためにも、一定の研修が必要であると思われる。</p>		

発言順位	12	議員名	林 健 太 (自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>1 安全で安心して暮らせるまちづくりについて</b></p> <p>(1) 市内街路灯の増設について  (要旨) 複数のまちづくり協議会が行ったアンケートによると、街路灯の増設を多くの方が望んでいるとの結果になった。本市の街路灯の設置状況を問う。</p> <p>(2) 防犯カメラの増設について  (要旨) 防犯カメラは、犯罪が起きにくいようにする抑止効果と、起きてしまった犯罪の解決の一助となる捜査支援のほか、昨今では、子供や高齢者、特に認知症の方などの見守り等にも活用されている。今後より重要になってくると考えるが、本市の見解を問う。</p> <p><b>2 学校給食について</b></p> <p>(1) 給食費について  (要旨) 新型コロナウイルス感染症の影響の長期化や、ウクライナ情勢等により、食材費・運送費等のあらゆる経費が高騰している現状である。給食費の値上げを決定している自治体もあるが、本市ではどのように考えているか、見解を問う。</p> <p>(2) 米飯給食について  (要旨) 物価が高騰する中、食費を削る家庭も想定される。子供たちの栄養面のサポートをする意味でも完全米飯給食を実施しないか、市の見解を問う。</p>		

発言順位	13	議員名	井藤圭順（自民党 真誠会）
発言事項	<b>1 コミュニティセンターのトイレについて</b>		
	<p>(1) トイレ洋式化の進捗状況について  (要旨) 平成30年6月議会において、トイレの洋式化について一般質問が行われたが、その進捗状況について、市の見解を聞く。</p> <p>(2) トイレの充実について  (要旨) コミュニティセンターは、全ての世代の方が利用する施設である。特に障害のある方からトイレの多機能化を望む声が寄せられていることから、今後のトイレの環境整備について、市の見解を聞く。</p>		
発言事項	<b>2 明石市の文化財と明石公園について</b>		
	<p>(1) 文化財収蔵庫について  (要旨) 現在、市内に分散して保管されている埋蔵文化財を適切に保存するための文化財収蔵庫の運用について、市の見解を聞く。</p>		
	<p>(2) 明石公園石垣災害復旧工事を踏まえた樹木伐採の経緯について  (要旨) 平成7年1月17日に発生した兵庫県南部地震により、明石公園の石垣の8分の1が損壊した。平成の天下普請と言われた復旧工事着工から1年8か月で竣工した明石公園石垣災害復旧工事とそれを踏まえた公園の樹木伐採の経緯について、市の見解を聞く。</p>		
発言事項	<p>(3) 明石公園に関するPT（プロジェクトチーム）について</p>		
	<p>(要旨) 本市が令和4年4月に設置した明石公園に関するPTの役割と兵庫県が設置する県立都市公園のあり方検討会（仮称）との連携を含めた、今後の県と市の連携について、市の見解を聞く。</p>		

発言順位	14	議員名	寺井吉広(自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>1 ギャンブル等依存症対策について</b></p> <p>(1) ギャンブル等依存症の現状について  (要旨) ギャンブル等依存症対策基本法が、平成30年10月5日に施行された。基本的施策として、国及び地方公共団体は、精神保健福祉センター、保健所、消費生活センター及び日本司法支援センターにおける相談支援体制の整備を講ずるとある。ギャンブル等依存症対策について、市の見解を問う。</p> <p>(2) 関係機関との連携体制について  (要旨) ギャンブル等依存症は、多重債務、貧困、虐待、自殺、犯罪等の問題に密接に関連することを踏まえて、関係機関との連携体制の構築が必要不可欠であると考えているが、市の見解を問う。</p> <p>(3) 条例制定について  (要旨) 持続的な取組を進めていくためにも、(仮称)ギャンブル等依存症対策条例が必要であると考えているが、市の見解を問う。</p> <p><b>2 子どもの居場所づくりについて</b></p> <p>(1) 本市の子どもの居場所について  (要旨) 安心して過ごせる居場所がなく、孤立化してしまう子どもも少なくない。本市の全ての子どもに居場所はあるのか、現状を問う。</p> <p>(2) 子どもの第三の居場所について  (要旨) 児童虐待やいじめなど、子どもたちが直面する様々な問題は、家庭や学校だけでは解決が難しく、そもそも家庭や学校に起因する場合も少なくない。家庭や学校以外の場で、信頼できる大人や友達と安心して過ごせる第三の居場所が必要であると考えているが、市の見解を問う。</p> <p><b>3 「明石市スポーツ推進プラン」の策定について</b></p> <p>(1) 「地域スポーツコミッション」の設立について  (要旨) 市内にはスポーツ関連団体が多数あるが、情報共有や連携といった組織的対応が不十分と考える。また、団体によって市の所管が違い、組織の統率が難しいと考える。そこで、スポーツ庁の定義する要件を満たした地域スポーツコミッションの設立を目指すべきと考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	14	議員名	寺井吉広(自民党 真誠会)
発言事項	<p>(2) 「運動・スポーツ習慣化促進事業」の活用について  (要旨) 健やかに生き生きとした生活を送るためには、適度な運動・スポーツを行うことが必要不可欠である。しかし、地域にはいまだに運動・スポーツに対して無関心な方が一定程度存在している。  健康づくりのための楽しい運動・スポーツを習慣にするため、スポーツを通じた健康増進の取組が必要であると考えているが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	15	議員名	楠本 美紀 (日本共産党)
発言事項	<p><b>1 安全安心の学校給食について</b></p> <p>(1) 物価高騰で給食の食材への影響はどうか。  (要旨) これまでどおりの栄養バランスや量を保った学校給食を実施するために、費用はどれくらい必要か。保護者の負担増とならないよう地方創生臨時交付金などを活用し、食材調達費用の増加分を公費で負担できないか。</p> <p>(2) 物価高騰の中で、栄養バランスは維持できているのか。  (要旨) 大量の食材を扱う学校給食の調理は加熱調理が原則である。熱や水に弱いビタミンCは令和3年の改正で摂取基準が引き上げられているが、本市はその基準を満たしているのか。</p> <p>(3) 安全安心の国産小麦使用のパンを。  (要旨) 全国的に学校給食のパンに国産小麦を使用する動きが広がってきている。食料自給率を上げるためにも、本市でも、全体の使用量の50%からでも国産小麦を利用してはどうか。</p> <p><b>2 風通しが良くなる、市内中学校の校則見直しについて</b></p> <p>(1) 市内中学校の校則見直しはどのように行われているのか。  (要旨) SNSや国会でブラック校則が問題となり、全国で校則の見直しが進められているが、本市においては、どのように取り組まれているのか現状を聞く。</p> <p>(2) 校則を見直す場合、何を基準としているのか。  (要旨) 児童生徒支援課からどのような助言が行われているのか。全生徒対象のアンケートを行っているのか。憲法や子どもの権利条約に照らしてどうなのか等が話し合われているのかを聞く。</p> <p>(3) 行きたくなる学校づくりのために。  (要旨) あかしSDGs推進計画では、「誰一人として取り残さない」をうたっている。校則が負担となり学校に行きづらくなることはないように、今後、校則の見直しなどの対応が求められると思うが、市教育委員会の認識を問う。</p>		

発言順位	15	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	<p><b>3 乳幼児期における発達障がい児に対する施策について</b></p> <p>(1) 発達支援センターの移転拡充について  (要旨) 本年7月に、ふれあいプラザあかし西から明石市役所北庁舎に移転する経緯と今後の方向性を聞く。</p> <p>(2) 保育所での発達障がい児への支援について  (要旨) 保育所等訪問支援、認可保育所等における特別支援の取組、認可外保育所への訪問相談について、各事業の内容と実績を聞く。</p> <p>(3) 発達障がい児の保護者への支援について  (要旨) 保護者が子どもの特性を理解し、特性に合う適切な対応を行うことが必要である。適切な支援ができるよう、保護者に対しての学習の場が必要ではないか。</p> <p>(4) 保育士への支援について  (要旨) 保育士は保育のプロであっても、発達障がい児などの療育のプロというわけではない。保育士の質の向上のために、学習の機会が必要と考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	16	議員名	森 勝子(維新の会)
発言事項	<p><b>1 西明石活性化について</b></p> <p>(1) 本市とJR西日本との西明石駅を中心としたまちづくりについて  (要旨) 本市とJR西日本が連携し、今まさに西明石駅周辺の再開発、まちづくり構想の実現に向け、具体的に取り組んでおります。先日、近隣住民を対象とした説明会が行われ、多くの方々から、駅ビルやJR社宅用地の開発及び子ども達の通学路や遊びの場等について様々な意見が寄せられました。その後のJR西日本との協議の進捗状況をお聞かせください。</p> <p><b>2 動物さつ処分ゼロに向けて</b></p> <p>(1) あかし動物センターの今後の活動について  (要旨) 本年4月から新しい所長が就任され、今まで以上に動物愛護活動が活発になることを大いに期待しております。全国に先駆けた「明石まちねこプロジェクト」も始動しておりますが、現在の取組状況と今後の方向性をお聞かせください。</p> <p>(2) マイクロチップ装着の義務化について  (要旨) 本年6月1日から犬や猫が迷子になったときなどに飼い主が分かるよう、販売業者にマイクロチップの装着が義務づけられ、新たに購入する飼い主にも氏名や住所などの登録が求められています。さつ処分ゼロに向けて前進する一方、費用負担等の問題があります。本市における今後の方向性をお聞かせください。</p> <p><b>3 市民からのパワハラ相談について</b></p> <p>(1) パワハラ防止の啓発と相談窓口の充実について  (要旨) 令和2年6月からパワハラ防止法が施行され、本年4月に中小企業にも防止措置が義務化されました。パワハラとは、①優越的な関係を背景とした言動がある、②業務上必要かつ相当な範囲を超えたもの、③就労環境が害されるもの、これら3つを全て満たすものを言います。パワハラは加害者側に自覚がなく、解決しづらい問題で、立場の弱い人は声なき声をあげられずに泣き寝入りしているのが現状です。私も今困っております。</p> <p>誰一人取り残さない明石市にとって、市民の心の傷に寄り添える身近な窓口の設置が急務と考えます。現在の取組状況と今後の方向性をお聞かせください。</p>		

発言順位	17	議員名	家根谷 敦子(スマイル会)
発言事項	<p><b>1 誰もが住みやすいまちづくりについて</b></p> <p>(1) すべての人が自分らしく生きられるインクルーシブなまちづくり条例について  (要旨) 本年4月、あかしインクルーシブ条例(略称)が施行された。「インクルーシブ」という言葉や制定後の取組などを市民へ分かりやすく周知・啓発する必要があると考える。今後の取組や周知方法などをお尋ねしたい。</p> <p>(2) 障害理解への啓発について  (要旨) 誰一人取り残さないまちの実現には、障害や障害者についての理解促進、子どもを含む市民に対する継続的な啓発が必要である。啓発は障害種別を限定せず、幅広く行うべきと考える。これまでの取組や今後の予定についてお尋ねしたい。</p> <p>(3) コミュニケーションボードの普及について  (要旨) 本市の庁舎内にある福祉コンビニでは、指さしで利用できる「コミュニケーションボード」が用意されている。特にコロナ禍でマスクの装着が続く中、とても有効なコミュニケーションツールであると考えます。市役所以外のコンビニ等の店舗にも普及することはできないか、お尋ねしたい。</p>		

発言順位	18	議員名	宮坂 祐太 (フォーラム明石)
発言事項	<p><b>1 予算編成過程について</b></p> <p>(1) 方針協議の対象事業について  (要旨) かつては「スプリングレビュー」や「サマーレビュー」と呼ばれていた市の方針協議にあたり、その対象となる事業はどのように選定されているのでしょうか。特に、事業所管課からの提案に基づく、いわゆる「ボトムアップ型」で協議の俎上に載せる仕組みが担保されているのか、お伺いします。</p> <p>(2) 事業所管課からの予算要求について  (要旨) こども関連施策に予算を重点的に配分する中、その他の分野において、例えば部局ごとに予算要求額の上限枠が設定され、事業所管課が予算要求を行う際の障壁となっていないか、真に必要な予算の要求を断念する事態に陥っていないか、お伺いします。</p> <p>(3) 財務担当による予算査定について  (要旨) 明石市財務規則第7条の規定による予算の編成方針等に基づいて、事業所管課から提出された予算要求書を財務担当はどのような判断基準で査定しているのか、お伺いします。</p> <p>(4) 事業所管課からの「予算復活要求」について  (要旨) 予算査定後の事業所管課からのいわゆる「予算復活要求」について、市長等や財務担当はどのような基準で可否を判断しているのか、お伺いします。</p> <p>(5) 市長による予算査定及び「予算のやりくり」について  (要旨) 財務担当において調製された予算原案について、市長はどのような判断基準で査定しているのか。また、市長が公言している、市長が自らの責任において行う予算編成と「予算のやりくり」とは、具体的にどのような手法で行われているのか、お伺いします。</p> <p>(6) 予算編成過程の公表について  (要旨) 新年度予算編成状況説明会で示される資料の公表に至るまでの間に、庁内でどのような過程を経て予算案が編成されているのか、市民はもとより議員にとっても全容が分からないのが実情です。市は、かつて予算編成過程の公表等を求める本会議質問に対し、「市民の皆様は混乱を招く恐れがある」と答弁していた時期もありましたが、近年は市の考え方に変化も見られます。市民の皆様からお預かりした貴重な税金をどのように優先順位を付け、配分し、活用していくのか。より一層、市民の理解を得るためにも、多くの地方公共団体で行われている予算編成過程の公表が不可欠です。市の考えをお伺いします。</p>		

発言順位	19	議員名	丸谷 聡子 (かけはしSDGs)
発言事項	<p><b>1 自然環境を損なわない適正な地球温暖化対策の取組について</b></p> <p>(1) 明石市再生可能エネルギー導入可能性調査について  (要旨) 昨年度実施した地域循環共生圏構築のための再生可能エネルギー導入可能性調査結果について、市の見解を問う。</p> <p>(2) 自然環境を損なわない適正な地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定と取組について  (要旨) 日本各地で自然環境を損なう再エネ開発による問題が深刻化しており、国においても法規制の検討が始まっている。特に、市域が狭く、水でつながる生態系を有する本市は、ため池や里山、緑地などの水の源の環境が壊れると、海の生態系にまで大きく影響が及ぶ。そこで、今年度改定予定の地球温暖化対策実行計画には、自然環境を損なう太陽光パネル設置をしないなどを明確に定めるとともに、アセスメント制度の導入や人工物への設置の促進など、実効性のある取組みを進めるべきと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(3) 一般住宅や事業所の屋根への太陽光発電設備導入の促進について  (要旨) 一般住宅や事業所の屋根への設置を促進するため、PPA（電力販売契約）やソーラーマッピング（屋根台帳）を導入してはどうか。また、阪神7市1町と神戸市が実施している太陽光発電・蓄電池設備の共同購入事業に取り組んではどうか、市の見解を問う。</p> <p>(4) 市内公共施設への再エネ、ZEB（ゼロ・エネルギー・ビルディング）の導入について  (要旨) 既存の公共施設には、太陽光発電をいち早く設置するべきと考える。特に、学校や病院は、災害時の非常電源としても利用できる。新設・改修施設は、ZEBにするべきであると考えているが、市の見解を問う。</p> <p><b>2 市民参画と協働で拓く新しい公共の取組について</b></p> <p>(1) 無作為抽出の手法を用いた市民参画の取組について  (要旨) 市の基本的な政策及び施策の企画立案段階等において、統計的手法に基づいた無作為抽出で選んだ市民から意見やアイデアを出してもらおうことを市民参画の方法として取り入れ、多様な市民の意見を反映してはどうか、市の見解を問う。</p>		

発言順位	19	議員名	丸谷 聡子 (かけはしSDGs)
発 言 事 項	<p>(2) 市民提案型協働事業制度の導入について  (要旨) 市と市民公益活動団体等と一緒に取り組むことで地域課題を解決していく市民提案型協働事業制度を導入してはどうか、市の見解を問う。</p> <p>(3) 分野型市民活動の支援の在り方について  (要旨) 分野型市民活動の支援の在り方で最も重要なことは、情報の共有と発信のサポート、人件費などの財政支援だと考える。しかし、現状の支援は十分とは言えない。ニーズに合った改善や見直しが必要であるが、市の見解を問う。</p> <p><b>3 県立明石公園の自然環境保全の在り方について</b></p> <p>(1) 明石公園に関するPT (プロジェクトチーム) の進捗状況について  (要旨) 本年4月1日に設置された明石公園に関するPTの進捗状況を聞く。また、自然環境保全や過剰な樹木伐採について、市民や専門家の声をどのように聞き、反映していくのか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 兵庫県との連携について  (要旨) 本年4月4日、兵庫県知事は現地視察直後の会見において、年度内の伐採計画の中断、県立都市公園のあり方検討会(仮称)を設置し、明石公園部会を設けて地域住民や自治体、有識者等の幅広い意見を反映する、明石市PTとも連携すると表明しているが、具体的にどのような連携をしていくのか、市の見解を問う。</p>		

発言順位	20	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p><b>1 ジェンダー平等の推進について</b></p> <p>(1) 課題認識について (要旨) 男女の賃金格差の是正はジェンダー平等社会の土台と考える。市の現状認識を問う。</p> <p>(2) 今後の取組について (要旨) 男女の賃金格差に係る実態の把握と公表が必要と考える。今後の取組について、市の認識を問う。</p> <p><b>2 工場緑地面積率の緩和について</b></p> <p>(1) 「工場立地法地域準則条例」の公布・施行に係る市長の認識について (要旨) 当初は、最高裁まで争う姿勢を示していたはずだが、方針を転換したのはなぜか。</p> <p>(2) 明石市工場緑地のあり方検討会の答申との整合性について (要旨) 検討会の結論と大きく乖離した条例が施行されたが、今後、この答申をどのように活かすのか。</p> <p><b>3 市政の諸課題について</b></p> <p>(1) 市長の判断が全てに優先する組織体制について (要旨) 法的根拠について問う。</p> <p>(2) 市税情報の目的外利用について (要旨) 実態と法的見解、認識を問う。</p> <p>(3) 徴税吏員でない職員が税情報を見ることについて (要旨) 実態と法的見解、認識を問う。</p> <p>(4) 弁護士資格を持つ職員の職務・職責について (要旨) 見解を問う。</p> <p>(5) 徴税吏員の職務・職責について (要旨) 見解を問う。</p>		

発言順位	21	議員名	北川 貴 則 (維 新 の 会)
発 言 事 項	<b>1 コロナに負けない生活支援と福祉の充実について</b>		
	<p>(1) 生活困窮者への支援の現状について  (要旨) 新型コロナウイルスの感染者数は減少傾向にあり、コロナ禍で職を失うなどの経済損失の回復が期待されておりました。しかし、世界情勢から物価が上昇するなど、生活困窮の改善にはめどが立たないのが現状ではないでしょうか。この間、生活が苦しくなった方への対応は適切に行われていたのでしょうか。現状及びこの間の取組をお聞かせください。</p> <p>(2) 今後の支援策について  (要旨) 長期間のコロナ対策による疲弊、苦境を把握し、生活困窮を理由に命を絶つことがないように、今一步、施策のさらなる展開を望みます。市民の生命・生活を守る、精神面も含めた支援策の今後の展開をお聞かせください。</p>		
	<b>2 「安全なまち明石」の実現のための危機管理について</b>		
<p>(1) 総合治水対策は万全なのでしょうか。  (要旨) いつ、どこで発生してもおかしくないと言われる線状降水帯は災害を招く危険性があります。明石川が氾濫すれば、多くの生命や住宅に甚大な被害を及ぼします。大雨シーズンを迎える本市の治水対策をお聞かせください。</p>			
<b>3 健全財政と人口増策について</b>			
<p>(1) 令和3年度一般会計決算見込みについて  (要旨) 財政健全化の取組に終わりはありません。9年連続人口増、税収増の今、将来を見据えた無理のない財政運営に努めながら、市民が税収増の恩恵を感じていただける減税はできないでしょうか。令和3年度一般会計決算見込みについてお聞かせください。</p> <p>(2) 人口減少社会の今、本市の人口増策について  (要旨) 泉市長の市民重視の政策は、多くの方に共感され、本市の人口増に大きく貢献していると思います。まちのイメージや生活の質を重視した整備を行い、住むところと働くところづくりにも注力しながら、目標として人口35万人を目指すべきだと考えます。泉市長の見解をお聞かせください。</p>			